

西日本支店長会

Branch

2020.2 No.448

Branch
西日本支店長会

2020年2月 No.448

西日本支店長会事務局

〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞社 西日本会事務局内
TEL092(711)5190 FAX092(711)5199 e-mail:shitenchokai@nishinippon-np.jp

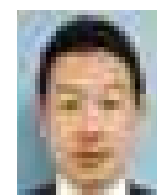


「雪の久大線」 撮影:長 吉秀(福岡市在住)

事務局だより

Secretariat newsletter

会員異動



大塚製薬株式会社

ニュートラシューティカルズ事業部
福岡支店長

笠間 康久氏

(石川県出身)

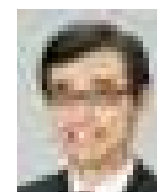


東洋インキ九州株式会社

代表取締役社長

古林 靖夫氏

(東京都出身)



株式会社日建設計

九州オフィス
執行役員 九州代表

鳥井 信吾氏

(東京都出身)

前任者 妹尾賢二氏はクライアント・リレーション&ソリューション部門 執行役員クライアントリレーショングループ代表=東京都=へ



三井住友ファイナンス&リース株式会社

九州営業部長

國井 芳行氏

(埼玉県出身)

西日本会2020新年祝賀会



令和になって初めての西日本会の新年祝賀会が1月16日、福岡市・西鉄グランドホテルで行われました。新しい時代の幕開けに、重要無形文化財総合指定保持者の二世野村万緑氏、吉住講氏などによる狂言「蝸牛」でスタートしました。主役の山伏が「えい！えい！えい！」と林を分け入るシーンは、運を開く、鏡開きのような縁起の良さに通じるようで、会場は拍手喝采に包まれました。

開会挨拶は、西日本会を代表して九州電力特別顧問の松尾新吾氏。続いて主催者挨拶を西日本新聞社代表取締役柴田建哉社長、西日本支店長会会長の上谷隆氏（タカラスタンダード九州特販支店管掌常務執行役員）の乾杯の音頭で会場は新年の挨拶や名刺交換で賑わいました。



Branch 2020 INDEX 2 No.448

西日本会2020新年祝賀会 2

例会Report

「博多券番の世界～伝統文化とおもてなし～」

博多券番代表・博多芸妓 こまこ氏 3～7

特別例会 懇親会 8

「激動の東アジア政局を読み解く

－朝鮮半島・香港・台湾情勢と日米同盟－

外交ジャーナリスト、作家 手嶋 龍一氏 9～12

合同例会 懇親会 12

2019年秋 西日本新聞

西日本会ゴルフ会 13～14

西日本支店長会 東京OB会開催 15～16

九州人奔る 17～18

事務局だより 19

博多券番の世界 ～伝統文化とおもてなし～



博多券番代表・博多芸妓

こまこ氏

芸どころ博多をリードする博多券番の芸妓衆。博多の伝統文化の担い手であり、十日恵比須神社(福岡市東区)で1月9日に開かれる正月大祭の「かち詣り」に毎年参拝し、1年間の開運と商売繁盛を祈願するなど、さまざまな年間行事があります。

西日本支店長会11月特別例会の講師は、博多券番芸妓代表のこまこ氏。料亭「三光園」(同市中央区)で、博多券番の歴史やおもてなしなどについて解説。その後、こまこ氏と西日本新聞社の大久保昭彦取締役とのトークに移り、お座敷遊びの心得や「お姉さん」という言葉の使い方などをユーモアを交えながら語りました。

(講演日:2019年11月12日)

博多券番の「こまこ」と申します。出身は湯煙の里、鹿児島県の霧島です。子どものころから踊るのが大好きで、芸道の道を進んで何十年になります。お酒も大好きです。踊りとお酒の両方を生かせるものはないかと思ったときに、博多券番を思い浮かべました。飲めるし、踊れるし、一石二鳥だと思つてこの世界に入りました。早20年になります。現在、博多券番の代表を務めさせていただいています。

明治時代には、博多の芸妓はおおらかで、きつぷがよいと評判で、2000名を超えていました。料亭も東京の築地、日本橋と並び称されました。有名な小説に火野葦平の「馬賊芸者」があります。昭和時代には金融恐慌のあおりを受けましたが、昭和12(1937)年には884名と昭和期のピークを記録しました。

そのような時代を経て、私は平成12(2000)年にこの世界に入りましたが、芸妓は21名になっていました。現在、博多券番の人数は14名。仕込みさん2名を含めると16名です。

博多券番では、1年を通じて日本舞踊、三味線、鳴り物、小唄、長唄、清元の稽古をしています。全ての師匠方を東京からお呼びしています。師匠方に掛かる経費は、月謝、交通費、宿泊代と高額になりますが、師匠方は一流でなくてはならない、一流の目を持ち、一流の芸を持った方々に指導を受けてこそ、本物に近付くと思つて稽古に励んでいます。

稽古の日は時間厳守で、人数がそろわなくても午前10時30分に始まります。終わりは各自、座敷の時間に遅れないように帰っていきま

明治22年に最初の券番

まず博多券番の歴史について紹介します。江戸時代の10代将軍、徳川家治公の時代、天領地の長崎には大坂から100日滞在が許された芸妓たちがいて、100日滞後に博多などに居つきました。

博多に最初の券番ができたのは明治22(1889)年。博多区の旧奈良屋小学校に相生券番が誕生。その後、中洲券番、千代町の水茶屋券番が開業しました。大正時代には、新券番、南券番ができました。ちなみに券番とは、料亭と芸妓の仕事を取りまとめる事務所

です。そのため、二日酔いでも這つても来なさいと教えられております。稽古があつてこそ、芸があつてこそその芸妓ですから、稽古は絶対です。

福岡商工会議所に博多伝統芸能振興会という組織があります。そこから券番事務所の維持費などを支援していただいています。たいへんありがたいことです。ただ博多伝統芸能振興会も資金がだんだん少なくなっている状態で、支援もいつまで続くかは分かりません。たいへん心配しています。

3年前芸妓の花代改正をしていただきました。花代につきましては、昭和60(1985)年以降30年以上一度も見直しがされていませんでした。今では料亭の数が4軒にまで減ったことから、お座敷も減り、伝統を守っていく若い芸妓のためにも、このままでは駄目になると、博多券番が一致団結して料亭側さんと何度も何度も話し合いをしました。その結果、お客さまの要望があれば料亭外でも働けるようになり、花代の改正もしていただきました。お陰さまで、いまではやっと身だしなみ、若い芸妓たちは着物に帯、かんざしと、自分を磨くことができるようになりました。

ただし、これもお座敷があつてのことなのです。博多券番の運営もたいへん厳しい状態でありますが、料亭以外の場所でも働けるようになった今、皆さまのお祝い事や結婚式、パーティー、イベント、アトラクションに芸妓をお呼びいただければ、日ごろの精進の成果をご披露させていただきます。ぜひとも皆さまのお力添えをよろしくお願いします。

座敷文化に興味を

券番の年間行事についてお話します。毎年1月9日、十日恵比須神社のかち詣りから始まります。2月の博多座での歌舞伎総見、3月は太宰府の九州国立博物館でのお練り公演です。5月の博多どんたく港まつりでは、3日、4日の二日間、市内の22カ所を回ります。6月は船乗り込みと歌舞伎総見。11月は相撲総見。12月は私どものメインイベントである「博多をどり」があります。博多座で1日3回の公演です。博多をどりは1年の集大成で、今年で29回目です。まだまだ福岡市民に浸透していかないのが現状ですので、新聞や雑誌などの力を借りながら普及に努めてまいります。

それから2月3日の節分。お座敷では「おあげ」と言つて、昔から厄落としに仮装をしています。好きな衣装をまとい、若い芸妓は老け役とか、上の姉は若づくりと、テレビやコマーシャルなどではやっているものを取り入れて、お座敷で楽しいひとときをお客さまと過ごします。お客さまはたいへん喜ばれています。ぜひ、一度2月3日、4日にお座敷遊びをしてみてください。

私どもがお客さまのおもてなしをするうえで、一番大切に思うのが「座敷文化に興味を持った」とか、「楽しかったよ」と言つていただくことです。そのためにも、芸の精進に努めています。

女性としての身のこなし、所作は芸を究めることじみ出るようになるものです。例えばお客さまにビールをお注ぎするときは、ビール瓶を持つ手の仕草などたいへん気を使います。それとなく品よくきれいでなければなりません。身振り、手振りなど華やかでなければなりません。

芸を通しての芸妓の立ち振る舞い、しとやかさ、そして落ち着き、それが身に付いたときが最高のおもてなしだと思います。そのためには日本舞踊をはじめとした芸事を

幅広く、各自芸妓たちは責任をもつて日々頑張つて稽古をしています。

お座敷に入りますと、初めの芸妓は「こんばんは」とあいさつをして、中央のお客さまの傍に座ります。それから、ビールを注ぎます。何気ない会話をしながら、お客さまの様子を伺ったり、気を配ります。

困ることは、「料理を食べられないうから、君が食べてくれ」と言われるお客さまです。芸妓はお酒はいくらでも頂きますが、絶対に食べ物には口にいたしません。それが私たちの行儀なのです。ご了承ください。

テーブルには水が入った器が真ん中ほどに置いてあります。これは杯洗という盃を洗うものです。これも昔ながらの流儀です。やはり浮世離れた昔の雰囲気、日本伝統の床の間に掛け軸、料亭ならではのいたく空間、そして芸妓とのひとときを過ごしていただくことが、私たちが提供できるおもてなしだと思っています。

日本は、独自の古い伝統文化を持った唯一無二の国だと、世界中から注目されています。それは日本人の根底にある忍耐、努力の賜物で、それを守り続けてきた先人

たちの上に私たちも生かされているわけなのです。

この素晴らしい文化を自分たちの時代で終わらすことなく、次の世代に渡すためにも、これからも頑張らなければと思っています。

博多券番は現在、総勢16人でございますが、おもてなしの心をもって日々精進して、仕事の幅を広げ、人数を増やしていきたいと思っています。現在はホームページを立ち上げていますので、興味がある方は、ぜひご覧になってください。

トーク 券番は接遇の文化

事務局 ここからは西日本新聞社取締役の大久保昭彦にインタビュー役をゆだね、トーク形式でこまこ姉さんにお話をうかがいます。大久保は、西日本新聞社が2005年に設置した博多まちなか支局の初代支局長を務めました。

大久保 ご紹介の通り、私はしばらく博多の街の真ん中で取材活動をしていた時期があります。そのときに券番の取材もしました。記憶と経験を踏まえて、こまこ姉さんにいろいろとお尋ねをしていきます。

お手元に配布した資料は、過去



水茶屋券番の料亭「常盤館」(大正時代)

の西日本新聞紙面です。左側上に掲載された写真は、こまこさんの話にも登場した水茶屋券番の「常盤館」という料亭の前の写真です。芸妓さんの数の多さと建物の大きさがよく分かります。

当時は券番が幾つもあった、その中の一つです。昭和の初めころ880名の芸妓がいたという話がありました。この写真から想像がつくのではないかと思います。常盤館跡の碑は現在の博多区千代2丁目に残っています。

ばないので、本人には自覚がないんです。だから「おばあさん」と声をかけられると、きつと「えっ、私のこと？」という感じなのだろうと思います。私たちの芸妓の世界では変わらず「お姉ちゃん」なのです。

大久保 芸妓さんたちの代表的な言葉を幾つか教えてください。

こまこ 先ほども触れましたが、踊る人を「立ち方」、三味線を弾く人を「地方」と言います。私たちがいただく「花代」は、「線香代」とも呼びます。今でも何本、何本と計算しています。昔、時計がなかった時代に線香を立てて、その線香が消えるのに10分かかったらしいのです。それで1本、2本、3本と、今でも本数で計算してもらっています。時間給の基礎単位とでもいうところでしょうか。

お座敷に入って宴が進み、碗ものが出た後に披露する踊りを「御座付き」と言います。また、博多にはいせんが、東京の浅草に5名ぐらい「幫間さん」がいます。いわゆる太鼓持ちです。芸妓さんとお客さんとの間を取り持つ役回りです。

大久保 券番は九州では博多と長崎が知られ、地方都市では大さなところ、歴史的な背景がある

こまこさんの話の中に、「馬賊芸者」という火野葦平の小説が出てきました。この小説は昭和29(1954)年に映画化されました。主役を演じたのが京マチ子さんです。京マチ子さんは昭和25(1950)年に映画「羅生門」で、ベネチアの映画賞を取った、押しも押されもせぬ大女優で、「馬賊芸者」では姉さんを演じました。これで日本全国に、博多芸妓が知られるようになったのです。

近年、博多券番を引っ張ってこられたのは立ち方の「奴姉さん」でした。こまこさんも、この世界に入るときにいろんなことを教わったそうです。奴姉さんは今から10年前に鬼籍に入られたのですが、踊りが見事でした。NHKで放映された古典芸能観賞会に出演し、踊りを披露したことを御自身でも誇りにされていました。

地方では久千代姉さんという三味線の名手がありました。90歳過ぎてもお座敷に出ておられて、お客さんに「あんたもう94歳やろ」と言われて、「私は92歳。まだ若いとばい」と返す、きつぷのいいお姉さんでした。そういうやりとりが、お座敷で過ごす楽しさだと思います。

現在はこちらの「三光園」嵯峨野「博多老松」「満佐」の四つの料

新潟や熱海には芸妓さんたちが残っています。後継者不足は共通の課題のようです。芸妓になるには、身支度にお金がかかったり、修業に時間がかかったりします。今から芸妓さんになる方は、どんな方が向いているのでしょうか。

こまこ 私たちからすれば街を歩いていて「この人はきれいだから芸妓さんになればいいのに」とか、踊りが上手な子を見ると「芸妓になればいいの」と思いますが、本人たちにその気が無かったら来てもらえません。今年も



亭が、芸妓さんたちのお座敷の中心でしょうか。以前はまだたくさん料亭がありました。石城町に新三浦という鶏料理で有名な店があります。今は建て替わっています。以前は大きな構えの料亭で、広々とした座敷と立派な舞台がありました。そこに3代目の白井俊次さんというお父さんがいて、券番を非常にかわいがっておられました。いろんな話をうかがいましたが、中でも「券番は接遇の文化で、おもてなし。料亭と芸妓さんはセツトなんだ」と強調されていたのが印象に残ります。

博多は「粋な町だ」というイメージを抱いておられる方は多いと思います。その象徴の一つが博多券番だといえるかも知れません。さて、こまこさんにお話ですが、博多で「粋な旦那さん」と思われるように、お座敷遊びの心得を教えてください。

こまこ 最も大事なものは、率直に遠慮せず、遊びの輪に入ることです。遠慮したら場がしらけます。小唄でなく、流行歌でもいいので、その中に入ることが大事です。踊りや歌が始まったら、それを楽しむ。それと、芸妓さんを「お姉さん」と呼ぶ。たとえお姉さんじゃないような感じでも「お姉さん」と言

8月に面接をしましたけど、応募者は10名も満たしませんでした。一方で60歳代の希望者もいました。熱意は分かりますが「私は踊りも着物もできません。第二の人生で頑張りたいと思います」と言われても、もう無理ですね。若い子でも独り立ちするのに、10年はかかりそうです。

今は、若い子だったらとにかく来てほしいですね。そこから後は、その人の性格次第です。きれいなんぬんではなくて、この水に染まっていいたらどんな女性に変化していきます。どんどんきれいになると思います。要は根性、性格ですね。忍耐力がないと駄目。「素質のある子が入った」と思っても、根性がなくて芸妓さんにならないで辞めてしまった子たちもいます。

大久保 「この道で生きる」という意気込みというか覚悟が肝心なのですね。

こまこ そうです。今、仲間に加わって間もない子が2人います。1人は18歳で、まだ右も左も分らない。地方を夢見てこの世界に入ってきています。その子も二十幾つになつたら変化するでしょう。長い目で見ないといけないですね。それと15歳で、来春中学校を卒業したら入る子がいます。その子は、小さい

大久保 かつて久千代さんが、大丸デパートの売り場で店員さんに「おばあちゃん」と呼ばれ、ショックを受けたと話されていました。最晩年まで「自分たちの仕事は一生『お姉さん』と呼ばれる仕事。いつまでも『お姉さん』と呼ばれ続けたい」と言われていましたね。

こまこ はたからはどう見たつておばあちゃんなんですけど、私たちが日頃「お姉ちゃん」としか呼



伝統文化に触れた懇親会 8名の芸妓がおもてなし

老舗料亭「三光園」でこまこさんの講演後、懇親会を行いました。博多券番の芸妓さん8名によるお祝いの舞によるオープニング後、西日本支店長の上谷隆会長よりご挨拶を頂き総勢61名で博多料理や華やかな芸妓さんたちのおもてなしで楽しいひと時を過ごしました。



ときから踊りをやっているの、成長が楽しみです。

大久保 どの世界も人材確保や人材育成に力を注がないといけないですね。ところで、疑問に思っていたのですが、既婚の芸妓さんっておられるのですか。

こまこ みんな独身です。芸妓は独身で、いい人がきたら辞めないといけないんです。今年も5月の博多どんたくが終わって、1人東京にお嫁に行きました。

伝統文化を次の世代へ

大久保 いろんなお座敷、お客さんと出会う中で、失敗したなど思うことはありますか。

こまこ つい数日前の出来事です。お客さまと話をしているときに、仲居さんがおしほりを持ってきてくれました。それを私が自分で使ってしまったのです。本当はお客さまに渡さないといけないのに。こんなことは初めてでした。近づく「博多をどり」のことなどで頭がいっぱいだったからかな、とは思いますが、やっちゃいけないことをしてしまいました。

大久保 逆に「今日のお座敷は充実していた」と感じるのは、どんなときでしょう。

こまこ お客さまが帰るまで喜んでくださり、去り際に「また来るね。楽しかったよ」と言っていたのが一番うれしいですね。

大久保 ちょっと意地悪なお尋ねですが、芸妓さん同士でライバル心とか対抗心とか、あるいはいいじめとかはありますか。

こまこ 博多券番は全体の人数が少ないので、みんな踊らないといけません。それもあってうちとわりと団結心が強いのですよ。それぞれ心のなかで、ぞくことはできませんが、私の見るころそういう張り合いやいじめは無いと思っています。皆さん、自分に厳しいですね。売れっ子さんは午前2時、3時までお酒を飲んでます。それでも翌朝10時半には、稽古場で踊りの曲のテープをかけますからね。

大久保 ともかく稽古ですね。

こまこ 来ない人を待つてはいません。遅れたら、自分が失敗したと恥をかくでしょう。「すいませんでした」と謝ることで、次は絶対に同じ過ちをしません。午前3時くらいまで飲んでいて、その日の朝はお酒の臭いがぷーんとするんですよ。「あんな朝まで飲んだんでしょ」と言う、「3時まででした」。それでも来て、しつかりお稽古を



して帰りますよ。偉いと思います。

大久保 余談ですが、本日ご出席の支店長さんに面白い話をお聞きしました。先日、普段着姿で長唄の稽古に向かう芸妓さんが、なじみ客とおぼしき男性と街中でばったり出食わした光景を見かけたそうです。この男性は一言二言交わした後、芸妓さんの袂に心づけというか、おひねりをさつと渡して立ち去ったとか。支店長さんは「これこそ博多の粋な旦那だ」と感じしきりでした。私たちも、こんな粋な振舞いができるようになり

たいですね。

事務局長 私からも一つ質問です。お酒が飲めない芸妓さんはどうされているのでしょうか。お座敷遊びで、お酒を飲み合ったりもしますよね。

こまこ 券番のほとんどの芸妓はお酒を飲めますが、私の上の藤子姉さんは盃で一杯いただくくらいです。自分は飲まなくとも、ずつとお客さまと会話をしておもてなしされています。

お座敷遊びではともかく勝つことですね。負けちゃ駄目です。

大久保 お酒はどれだけ飲んでいいけど、お客さまの料理はご法度だという話がありました。

こまこ どうしても食べさせたいと望まれる場合は、別に「ご飯食べ」という会をつくっていただいています。線香付きです。

大久保 最後にみなさんにぜひ伝えたい一言を。

こまこ このような機会をいただき、券番の現状を少しでもお伝えできて良かったと思います。芸妓が少ないといっても、毎年新たに1人、2人入ってきています。伝統文化ですので、受け継いで次の世代に渡していくことが使命です。これからも博多券番をお見捨てなく、よろしく願います。

を断ち切れば、この三角安保に重大なほころびが出てしまう。その証拠に、北朝鮮が日韓の軋轢をあざ笑うかのように短距離ミサイルを次々に打ち上げている。

G S O M I A が揺らいでしまった理由は何か。1965年の日韓基本条約で決着がついていた徴用工問題が、文政権下の2018年に韓国最高裁で持ち出された。これは、明確な国際法違反であり、日本側が強く反発して日韓関係は急速に悪化していった。韓国海軍艦艇が自衛隊機へ火器管制レーダーを照射するという、戦争一步手前の事態まで起きている。これに反発した安倍政権は、韓国を通商面で優遇措置を講じる「ホワイト国」のリストから除外。その理由が「安全保障」だったこともあり、韓国も強く反発して報復に出た。G S O M I A を断ち切ると通告してきたのである。

日韓がここまで険悪な関係に入ってしまった現状を概観したが、ここで戦後の日韓関係を冷静に振り返ってみよう。日本が35年の長きにわたって韓国を植民地支配したのは紛れもない歴史的事実だ。イギリスも、過酷な植民地支配に手を染めたが、一方で旧宗主国としてかつての被支配国にいまも様々

な優遇措置を実施してかつての宗主国としての責務を果たしている。一方、日本は旧宗主国として十分な自覚があるのか。さらに、1965年の日韓基本条約締結当初、日韓の国内総生産(GDP)には7倍以上の差があつたが、今はほぼ同等と言つていいだろう。経済的な実力をつけた韓国は、それに見合った発言力を求めている。これまた冷厳な国際政治の現実なのである。

38度線が低い障壁に

福岡の皆さんは肌で感じ取つておられるはずだが、朝鮮半島を巡る地政学上の変化が著しい。日本が敗れてしばらくすると、朝鮮半島は、38度線を境に、南に李承晩の大韓民国、北に金日成率いる北朝鮮が誕生した。東西冷戦が厳しさを増す中、1950年1月には、米国务長官アチソンがアメリカの防衛範囲に触れた重要演説を行った。東アジアで重要な二つの地域がアメリカの防衛範囲、いわゆる「アチソン・ライン」の外側に置かれていた。一つは韓国。もう一つが、国境の内戦に敗れて逃げ込んだ蒋介石の国民党政権の台湾だった。

この演説を受けて1950年6

月、北朝鮮軍が38度線を突破し朝鮮戦争が勃発した。博多の地は後方拠点になり、おびただしい数の遺体が運ばれた。戦いは3年の長きにわたり、休戦。この38度線が自由主義陣営と社会主義陣営を隔てる大きな障壁になつた。

しかし現在、その障壁はぐんと低くなつた。それを象徴するように、3度目の米朝首脳会談ではトランプ米大統領が金正恩朝鮮労働党委員長の求めに応じ、38度線をまたいで見せた。韓国の文在寅大統領は2018年9月に平壤を訪れた際、「生涯の夢だった」という白頭山の頂に金正恩氏と立つことになつた。いまや西側陣営の最前線は対馬沖まで迫っている。

このような情勢を中国とロシアが見逃すはずはない。三角安保がどれほど劣化しているか、瀬踏みをしてみようと、竹島上空にロシアと中国の軍用機が飛ぶ異例の事態となつた。竹島上空は日韓それぞれが主張する係争の地だ。韓国軍は自国の領空を侵されたとして、ロシア軍機を標的に360発の警告射撃を行う事態となつた。

対する日本はどんな対応をしたのか。小さな声で伏し目がちに、外交ルートを通じて抗議をしたことになつている。残念ながら、これ

が今日の日本という国の安全保障に対する真の姿と言わざるを得ない。そのような姿勢は国際社会からあざけりをもって迎えられ、二ツポンの安全保障の根幹から大きく揺るがせている。

日米同盟と新冷戦

トランプ大統領は、大阪のG20サミットに先立って、日米安保条約の破棄に言及した。「我々が攻撃されても、日本はそれをソニー製のテレビで見るだけだ」と不満を述べた。このトランプ発言は、この限りでは本当なのである。日本が集団的自衛権の解釈を変えても、アメリカ領のハワイや米本土が敵の攻撃を受けても、現行憲法や安保法制では、自衛隊を派遣してアメリカを守ることはできない。1年後に大統領選を控え、このトランプ発言は、保守派の岩盤支持層の心をわしづかみにする。そんな効果を十分に計算してのことだろう。トランプ、したたかなり！

1951年、サンフランシスコ講和条約とともに日米安保条約が調印された。日本は米軍基地を米国に提供するという大きな犠牲を払いながら、米側には日本防衛の義務が条約上課されなかつた。戦

激動の東アジア政局を読み解く

—朝鮮半島・香港・台湾情勢と日米同盟—

西日本支店長会、パートナーズクラブ、西日本政経懇話会、地域フォーラムで構成する西日本会は、2012年から毎年、合同例会を開催しています。

第9回となる2019年の合同例会は、福岡市博多区のホテルオークラ福岡で開催。講師は、外交ジャーナリストで作家の手嶋龍一氏。悪化する日韓関係や非核化が停滞する北朝鮮、貿易摩擦や台湾を巡る米中対立の激化、香港市民の大規模抗議活動など、複雑化している東アジア情勢などについて講演して頂きました。

(講演日:2019年12月3日)



外交ジャーナリスト、作家
手嶋 龍一氏

父が福岡・筑豊の炭鉱主だった。私は道産子だが、もし父が筑豊にとどまっていれば皆さんと同郷だった。そんな福岡の皆さんは、朝鮮半島情勢を日々の仕事の視点からも肌で感じていると思う。日本がこれからどこに向かおうとしているか、福岡から考えてみたい。

「三角安保」のほころび

中曽根康弘元総理が101歳で亡くなった。中曽根内閣が成立した1982年前後、日韓関係は、当時も今と同じように「戦後最悪」と言われていた。当時は日本からのODA・政府開発援助を巡つて、60億ドルで決着するか、日韓が鋭く対立し、首脳会談も開けない情勢だった。関係改善の「密使」を務めたのが、伊藤忠商事会長を務めた瀬島龍三氏。中曽根総理の意を受けて極秘裡に訪韓し、援助額を40億ドルとすることで韓国側を説得して、日韓関係を修復したのだ。

現在は韓国からの旅行者が減っており、福岡の経済に影響が出ている。日韓関係がこのままではいいはずはない。どのようにすべきかを考えるため、まずは情勢を客観的に見ていく。

日韓の軍事情報包括保護協定(G S O M I A II ジーソミア)について先月、韓国の文在寅大統領は破棄を覆し継続することを決めた。G S O M I A がなぜこれほど重要なのか。それは、対中国、対北朝鮮への抑止力となる「東アジアの三角安保」が果たして機能するかが問われているからだ。日米間には日米同盟、米韓間には米韓同盟がある。米国を中心とするこの「三角安保」には、日韓の安保条約がない。これが弱点なのである。それを補完する形でG S O M I A が結ばれている。

G S O M I A がなければどうなるか。例えば北朝鮮のミサイル発射を韓国が察知したとしよう。日本への情報は、韓国から連絡を受けた米国経由になる。だが、米国が日本に情報を伝えるには、韓国の了承が必要になる。情報・インテリジェンスの世界ではこうした「サイドパーティールール」が厳しく適用される。その際、韓国がこの情報は日本に渡してくれるなというケースは起こり得る。だがG S O M I A さえあれば日韓の間で直接のやりとりが可能になる。

北朝鮮ばかりか中国、ロシアに対する抑止力となつている「日・米・韓・三角安保」。情報交換の一边

外交ジャーナリスト、作家
手嶋 龍一

慶応義塾大学経済学部卒、ハーバード大学シニア・フェロー。NHKワシントン支局長として同時テロ事件に遭遇、11日間連続の中継放送を担う。NHK独立後に発表した「ウルトラ・ダラー」「スギハラ・サバイバル」はベストセラーに。近著の「汝の名はスパイ、裏切り者あるいは詐欺師」（マガジンハウス）、佐藤優氏との共著「米中衝突」「日韓激突」（中公新書ラクレ）などがある。

撃な議論は行われていない。モリカケ、桜に終始している経済大国は、やがて世界の趨勢から取り残されてしまうだろう。

経営者の皆さんのもとには、雑多で膨大な「インフォメーション」が流れ込んでいる。その情報の海から、皆さんの仕事の本質を指し示す、貴重な情報を選び抜き、皆さんなりに分析を加えて紡ぎ出した情報こそが「インテリジェンス」。その「インテリジェンス」をもとに針路を決めていく。皆さんには真珠の様な「インテリジェンス」に拠りながら、この日本を是非とも誤りなきように導いていただきたいと思う。

講演終了後、懇親会で交流

第9回西日本会合同例会は、西日本会に所属する西日本支店長会、パートナーズクラブ、政経懇話会、地域フォーラム（佐世保、玄海）の会員約330名が参加しました。

開会の挨拶は、西日本政経懇話会会長の松尾新吾氏（九州電力特別顧問）。松尾会長は、この秋の叙勲で旭日大褒章を受章されました。講演後の懇親会では柴田建哉西日本新聞社代表取締役社長より花束を贈呈。祝福の拍手で会場が湧きあがりました。



勝国と敗戦国の盟約とはいえ、これこそ不平等条約だった。そこで当時の岸信介首相は、60年に安保改訂に踏み切り、米国が日本を守る義務がようやく明記された。基地提供と日本防衛、日米相互が担う義務は大きく異なるが、双方の義務がバランスとして日米安全保障条約は今日まで生き延びてきた。

米国の歴代大統領も条約の双務性を認め、これが日米同盟の根幹をなしてきた。しかし、トランプ大統領が「ちやぶ台返し」に及んだのはなぜか。トランプ政権の大きな特徴は「米国ファースト」だが、彼はさらに進んで「トランプファースト」である。全ては大統領の再選のためなのである。

トランプ政権は中国に最高30%の制裁関税を掛けている。日本製の自動車の関税は現在2.5%だが、トランプ政権が日本の自動車産業にも追加関税を課さないかと日本の自動車ビジネスに携わる人は気掛かりだろう。ここにも選挙の影が落ちてきている。間もなく始まる米大統領選で、民主党は、最重要の拠点州、フロリダとオハイオに加えて、ミシガン、ウィスコンシン州を奪還しなければ勝ち目はない。九州はいまや愛知に次ぐ「自動

車アイランド」だ。福岡の皆さんが取引をしている自動車関連州が勝敗のカギを握っている。トランプ氏はこれらの自動車関連州の動向を見据えながら、日本、そして中国との交渉に臨んでいる。

米中は貿易の分野を超えて安全保障の分野でも衝突している。象徴的なのが、中国が実効支配する南シナ海への米国のイージス艦派遣。「新冷戦」と称される米中衝突の時代だ。

米ソ冷戦時代、核戦争の歯止めが二つあった。一つは迎撃ミサイル制限条約で、核の使用を防ぐため、危険だが有効な方法だとして当時の米ソの戦略家たちはこの条約を締結した。もう一つは欧州の同盟国を射程に入れた中距離ミサイルの配備を全廃するINF全廃条約だ。このINF全廃条約こそ、冷戦終結の前奏曲となったのである。

あろうことが、トランプ大統領は2018年、中距離核全廃条約から離脱してしまった。中国はこの条約に加盟していないが、米ロが中距離核の開発競争に突入すれば、当然、中国も新たな核競争に手を染めるだろう。中国が沿岸に中距離核を配備すれば、その矛先は真つ先に九州に定められるだろう。こ

の地こそニッポンの戦略要衝なのである。

台湾情勢と日本の進路

日米同盟は二つの有事を想定している。朝鮮半島と台湾海峡の有事だ。ともにグローバルな世界大戦につながる恐れがある。1996年、台湾初の民主的な選挙である総統直接選挙に合わせ、中国は台湾近海へミサイル4発を発射した。米国は直ちに台湾海峡に二つの空母機動部隊を派遣し、中国は演習の規模を縮小せざるを得なかった。海洋強国・中国の出発はここから始まった。当時、米中の軍事力には天地の開きがあり、中国側はこれを「96年の屈辱」と呼ぶ。だが、海峡を挟む米中の軍事力の差は徐々に縮まっており、台湾が明示的に独立に傾けば、中国は台湾海峡にためらわず兵を出すだろう。

日本に駐留する米軍は、台湾有事に備えたものと言っている。米第七艦隊が台湾海峡に出動すれば、日米安保に従って、日本の自衛艦隊は行動を共にするだろう。だが、中国は最大限の報復措置を発動するにちがいない。全中国にある日本の自動車メーカーの工場は直ちに操業停止を命じられるだろう。そ

れゆえ、日本がアメリカ軍と行動を共にしなければ、日米安保条約は突然の死を迎えてしまう。台湾有事に行動しない日米安保など意味をなさないからだ。台湾海峡の有事が顕在化すれば、日本にとつては、進むも地獄、退くも地獄なのである。それゆえ、日本は、台湾海峡危機を顕在化させないようあらゆる外交努力を傾けるほか柵がないことを肝に銘じるべきだろう。そのためには、日本は国連安全保障理事会で拒否権を持つ常任理事国になる必要がある。

中国の習近平国家主席は2019年1月、「二国二制度」による台湾統一を訴えた。香港の情勢が深刻化したのは、その後のことだった。いまや台湾と香港の情勢は水面下で連動し始めている。日本の国会は「桜を見る会」の議論も結構だが、衆参両院は、日本の安全保障に重大な影響を与える東アジア情勢の議論をより深めるべきだろう。また、習近平国家主席は「二帯一路」という巨大な中華圏構想を提唱している。日本の産業にも大きなインパクトを与えるこの提案に、安倍政権はどう応じるのか定かではない。野党もこのような重要テーマこそ国会で取り上げて議論を深めていくべきなのだが、真



2019秋の西日本新聞ゴルフ会 成績表

(敬称略)

賞	氏 名	会 社 名	所 属
優 勝	才 木 剛	(株)西日本新聞旅行	パートナーズクラブ
準優勝	古 澤 吉 優	(株)古沢運送	パートナーズクラブ
3位	宮 本 勝 巳	丸紅(株)	西日本支店長会
4位	水 津 靖 紀	サンデン・リテールシステム(株)	西日本支店長会
5位	大 林 一 裕	コクヨマーケティング(株)	西日本支店長会
6位	石 川 隆 二	(株)オカムラ	西日本支店長会
7位	荒 川 博 次	西日本自動車(株)	パートナーズクラブ
8位	有 馬 保 弘	(株)ホテル日航福岡	西日本支店長会
9位	東 隆 介	平和不動産(株)	西日本支店長会
10位	大 田 学	日本紙運輸倉庫(株)	パートナーズクラブ
24位(西日本新聞社賞)	山 岡 英次郎	(株)博多エクセルホテル東急	西日本支店長会

「2019秋の西日本新聞ゴルフ会」賞品提供社(五十音順)

- アサヒ飲料(株)
- アサヒビール(株)
- 味の素AGF(株)
- (株)梓設計
- (株)アトリウム
- (株)伊藤園
- 英進館
- ANAクラウンプラザホテル福岡
- 江崎グリコ(株)
- (株)エフ・ジェイホテルズ
- 大分県
- 加賀電子(株)
- (株)鹿児島銀行
- 鹿児島県
- カゴメ(株)
- (株)環境開発
- (株)関電工
- キッコーマン食品(株)
- 九州自動車リース(株)
- 一般社団法人共同通信社
- 麒麟ビール(株)
- 麒麟ビバレッジ(株)
- (株)熊谷組
- 熊本県
- グリーンランドリゾート(株)
- 月桂冠(株)
- 児島洋紙(株)
- サッポロビール(株)
- サンデン・リテールシステム(株)
- サントリー酒類(株)
- (株)ジェイコム九州
- (株)ジェーシービー
- 商船三井フェリー(株)
- 西研グラフィックス(株)
- 全日本空輸(株)
- 総合警備保障(株)
- 総合メディカルホールディングス(株)
- 大王製紙(株)
- ガイドードリンコ(株)
- タカスタンダード(株)
- (株)竹中工務店
- 東急建設(株)
- 東急リパブル(株)
- 東洋インキ九州(株)
- (株)西鉄ホテルズ
- 西日本自動車(株)
- (株)西日本新聞エーシー・エス
- (株)西日本新聞エス・ピーセンター
- (株)西日本新聞総合オリコミ
- (株)西日本新聞旅行
- 日本紙運輸倉庫(株)
- 日本管財(株)
- 日本航空(株)
- 日本信号(株)
- 日本新聞インキ(株)
- 日本製紙(株)
- 日本たばこ産業(株)
- (株)ニューオータニ九州
- (株)博多エクセルホテル東急
- (株)博多座
- (株)ハダ工芸社
- (株)日立ソリューションズ西日本
- 福岡昭和タクシー(株)
- 福岡倉庫(株)
- 福岡ソフトバンクホークス(株)
- 平和不動産(株)
- (株)ホテルオークラ福岡
- (株)ホテル日航福岡
- 丸住製紙(株)
- 丸紅(株)
- 三島光産(株)
- 三井物産(株)
- 三井不動産リアルティ九州(株)
- 三菱ケミカル(株)
- 三菱地所レジデンス(株)
- 三菱商事(株)
- (株)三好不動産
- (株)明治
- (株)明電舎
- 森永乳業九州(株)
- モロゾフ(株)
- (株)安川電機
- (株)菱熱
- (株)レッツ
- 若宮ゴルフクラブ

西日本支店長会

パートナーズクラブ

西日本政経懇話会

2019年秋 西日本新聞 西日本会ゴルフ会

恒例の秋の西日本新聞西日本会ゴルフ会を昨年11月30日(土)、若宮ゴルフクラブで開催しました。天候にも恵まれた当日は17組67人の会員の皆さまにご参加いただき、楽しく懇親を深めました。

プレー終了後は表彰式までの時間を利用し、綿谷敏郎プロがアプローチなどワンポイントレッスン。多くの方が手ほどきを受け、熱心にフォームの修正に励んでいました。

今回の優勝はアウト44、イン46の90、ネット70・8の西日本新聞旅行代表取締役の才木剛さんでした。ベストグロス賞は古沢運送代表取締役の古澤吉優さん。アウト36、イン38の74、何と2オーバーという素晴らしい成績での準優勝でした。

24位(西日本新聞社賞)には博多エクセルホテル東急執行役員総支配人の山岡英次郎さんが入賞。九州の陶芸家4人のぐいのみセツなどが西日本新聞社の柴田建哉代表取締役社長から手渡されました。今回も会員の皆さまから多くの豪華賞品をご提供していただきました。厚くお礼申し上げます。

次回開催は6月6日(土)、福岡カンツリー倶楽部和白コース。西日本支店長会とパートナーズクラブの合同で実施します。奮ってご参加ください。



氏 名	現職会社名	役 職	現役会員時社名	在職期間
柏 頼 之	日本航空(株)	執行役員	日本航空(株)	H25.7～H28.3
亀 井 尚 志	三菱地所(株)	ソリューション営業一部担当部長	(株)三菱地所設計 九州支店	H24.6～H26.3
川 合 正 矩	日本通運(株)	相談役	日本通運(株) 福岡支店	H9.3～H13.6
川 崎 邦 俊	(株)関電工	営業統轄本部副本部長	(株)関電工 九州支社	H24.7～H29.6
菅 義 文	日鉄興和不動産(株)	開発企画本部 プロジェクト開発第二部担当部長	新日鉄興和不動産(株) 福岡営業部	H24.4～H29.4
久 我 俊 哉	TOTO(株)	上席執行役員販売統括本部長	TOTO(株) 九州支社	H26.4～H30.3
河 野 圭 志	中外製薬(株)	上席執行役員	日本銀行 福岡支店	H19.11～H21.5
相 良 毅	三井住友建設(株)	専務執行役員	三井住友建設(株) 九州支店	H24.4～H26.3
佐 田 誠	(株)I H I	グローバル・営業統括本部副本部長	(株)I H I 九州支社	H24.4～H29.3
猿 渡 博 之	(株)第一ビルディング	東京中央支店支店長	(株)第一ビルディング 九州事業所	H28.8～H30.3
嶋 田 正 人	一般社団法人共同通信社	デジタル推進局局长	一般社団法人共同通信社 福岡支社	H29.7～R1.7
常 慶 直 宏	日本精蠟(株)	取締役常務執行役員	伊藤忠商事(株) 九州支社	H23.4～H25.3
城 崎 好 浩	(株)東京リアルティ・インベストメント・ マネジメント	代表取締役社長	東京建物(株) 九州支店	H19.4～H23.3
末 吉 孝 弘	(株)ザ・キャピトルホテル東急	総支配人	(株)博多エクセルホテル東急	H21.7～H23.3
杉 浦 敏 彦	ニッケイ(株)	監査役	エヌ・ティ・ティ都市開発(株) 九州支店	H17.4～H20.9
高江洲 文 雄	(株)ミライト・テクノロジーズ	相談役	西日本電信電話(株)	H14.5～H18.5
高 田 直 人	A N Aホールディングス(株)	取締役常務執行役員	全日本空輸(株) 福岡支店	H25.4～H28.3
田 中 茂 義	大成建設(株)	代表取締役副社長	大成建設(株) 九州支店	H22.4～H25.3
田 中 信	オリックス・ファシリティーズ(株)	代表取締役社長	オリックス(株) 福岡支店	H28.3～H28.12
寺 田 修	清水建設(株)	代表取締役副社長	清水建設(株) 九州支店	H19.4～H22.3
原 川 民 男	(株)エー・ディー・ワークス	取締役(監査等委員)	住友信託銀行(株) 福岡支店	H13.6～H15.6
藤 本 明 徳	(株)NID	顧問	K D D I(株) 九州総支社	H22.4～H24.3
古 草 靖 久	(株)ロイヤルパークホテル	取締役社長	三菱地所(株) 九州支店	H23.1～H28.3
古 舘 直 人	(株)佐賀銀行	社外取締役	日本銀行 福岡支店	H7.5～H9.11
本 郷 孝 博	丸紅エネルギー(株)	取締役専務執行役員	丸紅(株) 九州支社	H27.4～H30.5
前 田 義 美	(株)アイシンコポーレーション	代表取締役	(株)森組 九州支店	H14.6～H19.3
牧ヶ野 孝 宏	(株)スチールセンター	代表取締役社長	新日鐵住金(株) 九州支店	H24.10～H28.3
正 木 悦 夫			(株)日本エアシステム 福岡支店	H1.4～H5.6
増 田 俊 秀	三幸ファシリティーズ(株)	代表取締役社長	(株)イトーキ 西日本支社	H20.1～H23.12
松 井 正	(株)イトーキ	監査役	(株)イトーキ 西日本支社	H14.12～H19.12
松 下 聡			三菱化学(株) 九州支社	H19.6～H21.4
丸 市 佳 永	三和タジマ(株)	代表取締役社長	三和シャッター工業(株) 九州広域ブロック	H21.4～H28.3
三 浦 智 彦	(株)船場	東北支店支店長	(株)船場 九州支店	H26.3～H30.12
南 早 貢	総合警備保障(株)	金融営業第一部部長	総合警備保障(株) 福岡支社	H28.8～R1.7
森 克 明	JR西日本プロパティーズ(株)	取締役専務執行役員	三菱地所(株) 九州支店	H19.4～H22.12
森 次 誠 治			(株)熊谷組 九州支店	H17.4～H24.3
山 下 朗 裕	(株)カシワバラ・アシスト	代表取締役社長	日本銀行 福岡支店	H18.7～H19.11
吉 岡 哲 郎	サンエムシステム(株)	顧問	日本ユニシス(株) 九州支社	H21.4～H23.3
吉 田 富 康	東邦資源開発(株)	取締役副社長	朝日生命保険(相) 福岡支社	S63.3～H3.3

●現職会社名・役職は2019.12月時点 ●氏名50音順・敬称略



西日本支店長会 東京OB会開催

2019年12月17日、帝国ホテル東京にて行われ、昭和63年から令和元年までに福岡に勤務された51名が集まりました。柴田建哉西日本新聞社代表取締役社長、松井正イトーキ監査役・西日本支店長会東京OB会会長の挨拶に続き、荻田伍アサヒグループホールディングス相談役・東京OB会名誉会長の乾杯の発声でスタート。恒例の1分間近況スピーチや、「宮崎宮の放生会」でしか手に入らない「博多チヤンポン」「おはじき」が当たる抽選会など和気あいあいの会場が盛り上がりました。締めは恒例の博多祝い唄、1番は小椋敏勝氏(元西日本電信電話福岡支店長)、2番は柏尾栄氏(元三菱地所設計福岡支店長)、3番を押部隆利氏(元TOTO九州支社長)、博多手一本を川合正矩氏(元日本通運福岡支店長)に入れて頂きました。

* 次回の東京OB会ゴルフ会は、8月29日を予定しています。皆さままたお元氣にお会いしましょう！

西日本支店長会 東京OB会 出席者

氏 名	現職会社名	役 職	現役会員時社名	在職期間
秋 山 修	(株)ローソン銀行	執行役員法人営業統括	日本銀行 福岡支店	H27.3～H29.5
旭 正 勝			日本ユニシス(株) 九州支社	H8.4～H11.3
浅 見 公 一	三菱電機インフォメーションネットワーク(株)	常任監査役	三菱電機(株) 九州支社	H22.4～H26.3
飯 田 和 男	三井デザインテック(株)	常務取締役	三井不動産(株) 九州支店	H23.4～H27.3
池 尻 昭 爾	(有)ラポール	代表取締役社長	資生堂販売(株) 九州支店	H2.4～H4.9
伊 藤 鴻 介	日本経済大学	名誉教授	松下電器産業(株) 九州支店	H2.3～H5.7
宇 野 治	一般財団法人ユースエコ	理事事務局長	三菱地所(株) 九州支店	H13.4～H16.3
大 北 茂 樹	(株)コア	取締役監査等委員長	(株)コア 九州カンパニー	H23.4～H26.6
荻 田 伍	アサヒグループホールディングス(株)	相談役	アサヒビール(株) 九州統括本部	H7.9～H12.9
小 椋 敏 勝	一般社団法人電気通信共済会	会長	西日本電信電話(株) 福岡支店	H18.6～H21.9
押 部 隆 利	一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会	専務理事	TOTO(株) 九州支社	H23.4～H26.3
柏 尾 栄	アトリエ・ケイ 一級建築士事務所	代表	(株)三菱地所設計 九州支店	H18.4～H24.6



九州人が、一直線に奔る。
目的のため、がむしゃらに奔走する。
時代を超え、壁を破り、走り抜いた人びと
その軌跡を辿る。

「山田堰」を造った
古賀 百工 (1718~1798)



山田堰を見学する海外からの学生と中村哲さん

戦乱のアフガニスタンで医療奉仕と灌漑堰と農業用水路建設に献身していた中村哲医師(73)が銃撃を受け、亡くなるというショッキングな事件が起こった。医師には小医、中医、

くりで、志なかばであった。「中村大医」の手下となったのが、筑後川の山田堰と堀川用水路、そして三連水車による用水の組み上げなど、一連の灌漑システム(福岡県朝倉市)である。

大医があると
言われる。通常
の医療行為で
命を助ける小
医から始まっ
て、辛亥革命で
中国を救おう
とした孫文の
ように国を救
う大医。中村医
師も、大医たら
んとしていた
ように思う。砂
漠化したアフ
ガンの国土を
灌漑で潤し、健
康な水の人々
に届け、農業用
水を確保する
堰と用水路づ

1663年に最初の堰
1663(寛文3)年、福岡藩初代藩主・黒田長政が他界して40年、福岡を大干ばつが襲った。干天が続く、稲は枯れ、他の作物も日焼けして、大飢饉。人々は草の根をかじり、かろうじて生き延びるありさまとなった。
黒田藩は木村長兵衛と魚住五郎右衛門に命じて、筑後川からの取水によつて田畑を灌漑することにした。2人は築城を手掛ける土木事業を司っていた。筑後川右岸の朝倉地方の農民が動員され、小さな堰(旧山田堰)が造られ、用水路(堀川)で約150鈔に水を引くことが出来た。
ところが、「筑紫次郎」と呼ばれる筑後川は全国有数の暴れ川。洪水のたびに堰は流され、役に立たなくなる。無残に破壊された堰を前に、また、不作に苦しまなくてはならないのかと、へたり込んだ。

筑後川に総石張りの「堰」

堰、用水路、三連水車で農地拡大

晩年に「百工」と名乗る

それから約100年。下大庭村の庄屋・古賀十作が洪水にも耐える「大堰」を造ろうではな
いか、と近隣の村々に呼びかけ
た。洪水にも壊れない石造りの
丈夫な大型堰造成に加え、川底
が強い水勢で掘られないような
石畳(2万5370平方尺)を敷
き詰める大工事だった。藩に建
設の許しを申し出て認められ
たのが1759年。これほどの大
工事、延べ62万人もの人手と32
万立方尺もの膨大な石材が必
要だった。これに対し、藩は一切
の支援、費用負担はしない。「百
姓たちが自分でやれ」。

十作は木に登って測量を繰り返したので「猿どん」の愛称が付
けられた。村々から農民が集ま
り、力を合わせてこの事業を成
し遂げた。石堰を強化し、水門
を広げ、用水路を延長、堤防の
強化などに取り組んだ。最大の

難事業は堰を川幅いっぱい
に広げ、取水水量を安定化させる事
業だった。着工したのは十作73
歳の時。奇しくも故中村医師と
同じ年の時だった。
十作は晩年、百工と名乗った
が、多様な土木事業を組み合わ
せた山田堰づくりを「百工」に
込めたのだろう。享年81。灌漑面
積は487鈔にもなっていた。朝
倉の広い水田に青々と茂り、秋
には豊かな黄金の稲穂。百工に
とつて、生涯の実りだったろう。

力を合わせ大事業

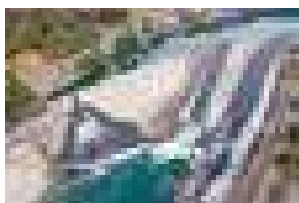
百工に学んだ中村医師はア
フガンの人々を現地見学に呼ん
だ。山田堰の住民総出、粘り強
く力を合わせて成し遂げた灌
漑事業。「力を合わせれば、こ
んな大事業が実現可能になる」と。
2003年着工。2020年まで
に、65万人の人々が食べていける
農地を潤す計画という。

敬称略(久保平)

古賀 百工 ゆかりの地

山田堰

現在の山田堰は、通常のいぜきのように一本の
石堤ではなく、表面積2万5370平方尺、広大な総
石張りで出来ている。筑後川の流れを、斜めに造
った堰で止め、自然に取水口(切貫水門)に流れ
込むように工夫されている。左岸側は通常に下流
へ流れるように開けられ、魚が遡上できる。筑後
川の水量が増すと堰を越えて急流となり、洗掘さ
れないように石畳がびっしりと敷き詰められ、堰
を強固にしている。自然と共存する工夫が随所に見
られる。古賀百工の生誕三百年記念式典が
2019年5月開かれ、中村哲氏が講演した。



朝倉の三連水車

日本で実動する最古の三連水車で、筑後川か
ら導水した堀川に設置され、国の史跡に指定さ
れている。田植時の6月中旬に堀川の水門が開け
られ、水門近くの水神社で通水式が行われる。8
月のお盆のころにはライトアップされるなど、朝
倉の風物詩となっている。水車研究家の故香月
徳男さんが保存運動を展開した。大分道朝倉
ICから県道80号を通り、ひわたち橋の信号で左
折し、同14号を東へ約2.2*で三連水車へ。

